

令和7年に支部内で発生した高圧ガス保安法事故

関東東北産業保安監督部東北支部

■災害(製造事業所等)

番号	規制対象区分	事故名称	年月日	県名	死者	重傷	軽傷	計	物質名	規模	現象 (1次事象)	2次事象	業種	設備区分	取扱状態	事故原因 (主因)	事故原因 (副因)	着火源	事故概要
1	製造事業所 (冷凍)	空冷式チラーからのフルオロカーボン漏えい	2025年1月6日	福島県	0	0	0	0	フルオロカーボン (410A)	C2	漏えい		その他 (圃場研究所)	冷凍設備	製造中	その他 (経年劣化)		無	空冷式チラー運転中にアラームが発生し運転を停止した。当該チラーの製造元が調査した結果、圧縮機から冷媒(フルオロカーボン410A)が漏えいしたことが判明した。漏えい量は10.6kg(全量) 原因は、圧縮機本体とアクümüレーター(圧力タンク)をつなぐ配管振動を抑制する配管バンドが折損したことで振動が大きくなり、圧縮機下部配管に負荷がかかり漏えいが発生したものと推定される。
2	消費先	配管からの液化石油ガス漏えい	2025年2月5日	岩手県	0	0	0	0	液化石油ガス	C2	漏えい		食品	配管継手	消費中	その他 (除雪で配管に積み上げられた雪の重みによる配管の変形)		無	ガス臭に気付いた従業員が販売所に連絡し来場した所員が調べたところ、露出配管の継手部が緩んでおり、同所から液化石油ガスが漏えいしたことが判明したもの。漏えい量は約100kgと推定。 原因は、除雪業者がショベルカーで雪を寄せた場所に露出配管があり、積み上げられた雪の重みにより露出配管が変形し継手部が緩み、漏えいに至ったものと推定される。
3	製造事業所 (一般)	貯槽の充填配管からの液化窒素漏えい	2025年3月3日	福島県	0	0	0	0	液化窒素	C2	漏えい		その他 (高圧ガス2種製造事業所)	容器	貯蔵中	その他 (老朽化)		無	ローリー車から貯槽(CE)に液化窒素を充填していたところ、貯槽の充填配管の溶接部から液化窒素が漏えいしている状況を確認した。原因は当該設備の老朽化によるものと推定。
4	製造事業所 (一般)	二酸化炭素消火設備からの二酸化炭素漏えい	2025年3月11日	山形県	0	0	0	0	二酸化炭素	C2	漏えい		その他 (電子回路基板製造業)	容器	停止中	調査中		無	社員がガスが抜けている音を聞いたため調べたところ、二酸化炭素消火設備の液化炭酸ガス容器6本のうち、1本の容器弁から噴出している状況を確認した。該当箇所気密に係る部品を確認したところ異常は確認できず、原因の特定には至らなかった。何らかの原因で該当箇所がわずかに緩みガス漏れが発生したと推定される。
5	製造事業所 (一般)	貯槽の充填配管からの液化窒素漏えい	2025年3月17日	福島県	0	0	0	0	液化窒素	C2	漏えい		その他 (高圧ガス2種製造事業所)	塔槽類	その他 (充填作業完了後)	その他 (老朽化)		無	ローリー車から貯槽(CE)に液化窒素を充填していたところ、充填配管と逆弁との溶接接合部から液化窒素が漏えいした。原因は当該設備の老朽化によるものと推定。
6	製造事業所 (一般)	液化酸素蒸発器バルブからの漏えい事故	2025年3月31日	福島県	0	0	0	0	液化酸素	C2	漏えい		電気	配管(弁)	製造中	締結管理不良	点検不良		凍結による機能低下を防ぐため、液化酸素製造設備に2台の蒸発器を設け、切り替えながら酸素使用生産設備に酸素を供給していた。蒸発器の切り替えのため、使用していた蒸発器の開閉弁を閉じたところ、同弁のガスケット付近から液化酸素が漏えいした。 原因は、開閉弁の開閉操作で液化酸素による熱収縮と外気温に戻る熱膨張が繰り返され、ボルトに緩みが生じたためと推定される。
7	製造事業所 (一般)	アルゴンガス漏えい事故	2025年4月8日	山形県	0	0	0	0	アルゴンガス	C2	漏えい		一般化学	配管	製造中 (スタートアップ)	調査中			HIP装置操業のため自動運転プログラムにて昇温昇圧中に炉内温度288℃、圧力107MPa付近にてガス漏れ音に気づき、隣室内に入り点検したところNo.4圧縮機低圧プラグ付近よりガス漏れ(アルゴンガス)を確認し装置を停止した。 原因は、メーカーに詳細調査を依頼中。
8	製造事業所 (一般)	アンモニアガス漏えい事故	2025年4月10日	福島県	0	0	0	0	アンモニア	C1	漏えい		一般化学	配管	製造中	操作基準等の不備	組織運営不良		液化アンモニア貯留施設の自動バルブフランジ部分からアンモニアが漏えい、漏えい確認後すぐにフランジを増し締めし、漏えいは停止した。原因は液化アンモニア貯槽液位の管理体制不備で液化アンモニアの爰入が遅れ、貯槽が空になった状態で製造したためアンモニアガスが漏えいしたものと判断。

9	製造事業所 (一般)	LPG供給ユニットの点検用アングル弁からのLPG漏えい事故	2025年5月15日	福島県	0	0	0	0		LPG	C2	噴出・漏えい		石油化学	配管	製造中	点検不良	誤操作	無	製造施設内に設置しているLPG供給ユニットの配管に設置された点検用アングル弁付近からLPGが噴出している状況を確認した。原因は、弁のハンドルが開の状態、温度変化による熱収縮と熱膨張等が繰り返され、プラグに緩みが生じ漏えいしたと推定。	
10	製造事業所 (一般)	充てん中のクッションタンクの破裂	2025年5月24日	宮城県	0	1	0	0	1	空気	C2	破裂		一般化学	容器	その他 (不明)	容器管理不良	誤操作	無	バイオマス発電施設内の発電機本体の冷却水を循環させるためのクッションタンクを加圧中に、圧力指示計(クッションタンク用)を確認せずに加圧を継続したため、空気の過剰供給により破裂したものと判断。	
11	製造事業所 (冷凍)	アンモニアガスの漏えい事故漏えい事故	2025年5月29日	青森県	0	0	0	0	0	アンモニア	C1	漏えい		食品	冷凍設備	停止中	その他 (経年劣化)		無	事業所の工場においてアンモニア臭がしたため調査したところ、冷凍設備の蒸発器及び圧縮機内に残っていた液体アンモニアが、気温の上昇に伴い気化し、経年劣化した配管等から漏えいした。工場内に漏えいしたアンモニアガスは中和して放出した。原因は、配管等の経年劣化、設備稼働停止によるメカニカルシール部(回転軸の隙間を塞ぐシール)の密封が弱まってできた隙間からの漏えいと推定される。	
12	製造事業所 (LP)	LPG漏えい・火災	2025年6月6日	青森県	0	0	1	1		LPG	C1	漏えい	火災	その他 (容器検査所)	配管	製造中	誤操作		有	LPガス容器から残ガスを抜き取る際に、抜き取ったガスを貯槽側に送る配管のバルブを閉めたまま、容器のバルブを開けたため、ガスが貯槽側に流れずに容器のバルブからLPガスが漏えいし、漏れたガスにより、作業員1名が低温火傷を負った。また、漏えいしたLPガスに近隣の乾燥炉付近で引火し、ビニールシートが燃えた。	
13	貯蔵所	高圧ガス漏えい事故	2025年6月19日	福島県	0	0	0	0	0	混合ガス (炭酸ガスと酸化エチレンガス)	C2	漏えい		その他 (高圧ガス製造販売)	容器	貯蔵中	調査中		無	顧客にて使用後の炭酸ガス及び酸化エチレン(20%)混合の残ガス容器を貯蔵していたところ、何らかの要因で容器安全弁の可溶性が溶け出した為、安全弁から微量の吹き出しがあった。原因は調査中。	
14	製造事業所 (冷凍)	アンモニアガスの漏えい事故	2025年6月26日	青森県	0	0	0	0	0	アンモニア	C1	漏えい		食品	冷凍設備	停止中	腐食管理不要	組織管理不良	無	老朽化により稼働を停止していた冷凍設備から、冷媒であるアンモニアガスが漏えいした。原因は冷凍設備と配管でつながっていた凝縮器等の腐食によるものと判断。	
15	貯蔵所	水素貯蔵モジュールの減圧ユニット安全弁からの水素ガス漏えい	2025年6月27日	福島県	0	0	0	0	0	水素ガス	C2	漏えい		その他 (実証事業場)	安全弁	その他 (充填作業完了後)	その他 (減圧弁の不具合)		無	水素貯蔵モジュール(高圧容器)2基の内1基から水素を充填後、減圧ユニット内2次側の圧力が上昇、同ユニット内に設けられている安全弁が作動し設備が自動停止したものである。原因は減圧ユニット内に設けられている減圧弁の不具合によるものと判明した。	
16	消費先	解体工事に伴うガス流出事故	2025年7月3日	秋田県	0	0	0	0	0	LPG	C2	漏えい		食品	容器	停止中		その他 (情報伝達の不備)		無	事業者が工場敷地内に設置していたバルク貯槽内部のLPガスを残したままの状態にし、倒産。別事業者が、同工場の解体を業者に依頼し、解体業者がバルク貯槽の解体を開始したところ、LPガスが漏えいした。原因は、解体業者が、貯槽内のLPガスが入っていないと思い込み解体工事を実施したため。
17	貯蔵所	LPG漏えい事故	2025年7月21日	福島県	0	0	0	0	0	LPG	C1	破損	漏えい	その他 (プリント基板製造)	貯槽	貯蔵中	誤操作		無	バルク貯槽へのLPガス充てん終了後、ローリーの充てんホースをつないだまま車両を進ませたため、タンクの元弁が変形しLPガスが漏えいした。バルクローリーの片側の扉を開けたまま充てん作業を行ったため誤発進防止機能が働かず、本事故が発生した。	

18	製造事業所 (コンビ)	水素ガス漏えい事故	2025年7月25日	宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	水素ガス	C2	噴出・漏えい	石油精製	容器 (その他安全装置)	製造中	調査中	無	集中合理化装置群及び重油間接脱硫装置群灯油脱硫装置の安全弁が作動し、水素ガスがフレアスタックに向けて噴出した。原因は調査中。
19	製造事業所 (冷凍)	ヒートポンプからの冷媒漏えい事故	2025年8月11日	岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	フルオロカーボン	C2	漏えい	その他 (病院)	冷凍設備 (蒸発器)	製造中	腐食管理不良	無	地中熱チラーの定常運転中、機器から「圧縮機コイル加熱」の警報が発報したため、設備を確認したところ、機器中の冷媒(フルオロカーボン)がほぼ無いことを確認した。機器内の振動及び温度変化による経年劣化が原因で気密不良が発生し、冷媒が漏えいしたものと判断。	
20	製造事業所 (LP)	ガス漏えい事故	2025年8月13日	岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	LPG	C2	漏えい	その他 (LPガス充てん所)	容器	貯蔵中	誤操作	無	警報により、事業所内を確認したところ、消費者宅から回収した50kg容器1本のバルブが開いており、漏えいしていたことを確認。原因は回収時に容器バルブの閉め方が緩かったか閉めた後に何かと接触して緩んだと推定。	
21	製造事業所 (スタンド)	充てん設備ガス漏えい事故	2025年8月13日	岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	LPG	C2	漏えい	その他 (LPガス充てん所)	配管 (その他ホース)	停止中	点検不良	無	従業員が、液化石油ガススタンドのディスプレイのホースから漏えいしていた状況を確認。詳細を確認したところ、本来は閉止しているはずのディスプレイのホース元のバルブがわずかに開いており、且つ、ホースに生じていた亀裂があり同部分から漏えいしていたと確認。原因は、調査中。	
22	製造事業所 (冷凍)	冷媒ガス(アンモニア)漏えい事故	2025年8月21日	青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	アンモニア	C1	漏えい	食品	冷凍設備	製造中	腐食管理不良	無	冷凍機のバルブセット付近でアンモニア臭がしたため、メンテナンス業者が確認したところ、電子膨張弁から冷媒用鉄管に接続するソケット継手の溶接部鉄管側にピンホールが発生し、アンモニアが漏えいした事を確認。	
23	移動 (タンクローリー)	タンクローリーLNG漏えい事故	2025年8月25日	福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	LNG	C2	噴出・漏えい	運送	容器	製造中	調査中	無	タンクローリーから貯蔵タンクにLNGを受け入れ作業中、タンクローリー上部付近から気化したガスが煙状に噴出。原因は調査中。	
24	製造事業所 (コンビ)	プロパンガス漏えい事故	2025年9月16日	宮城県	0	1	0	0	1	0	0	0	0	LPG	C1	漏えい	石油精製	配管	停止中	調査中	無	LPGの陸上出荷・貯蔵設備において、ローディングアームのグリッドニップル交換作業中にLPGが漏えいた。作業員が漏えいを止めようとして漏えい箇所を持っていたウエスを使い左手で押さえたため負傷。	
25	製造事業所 (冷凍)	水冷チラーからの冷媒漏れ事故	2025年9月16日	岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	フルオロカーボン	C2	漏えい	その他 (病院)	冷凍設備	製造中	腐食管理不良	無	施設内の冷房の冷えが悪い。メーカーによる調査を行ったところ、冷房装置の熱交換器から冷媒(フルオロカーボン)が漏えいしていたことが判明した。原因は、熱交換器に生じた経年劣化によるひび割れ部分からの漏えいと判断。	

26	貯蔵所	水素ガス漏えい事故	2025年9月18日	福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	水素ガス	C2	漏えい	電器	継手	消費中	シール管理不良	無	火力発電所において、発電設備稼働中、水素ガス漏えい警報が発報し、調べたところ、水素ガス供給配管ストレーナーのユニオン継手部からの漏えいを確認。原因はユニオン継手内部の部品(ガスケット)の損傷によるものと推定される。
27	製造事業所 (冷凍)	冷凍機付風配管溶接部からの冷媒ガス微量漏えい事故	2025年9月21日	宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	炭酸ガス	C2	漏えい	その他 (冷蔵倉庫事業)	冷凍設備	製造中	施工管理不良	無	第1種製造(冷凍)事業所において、工事業者が冷却器ファンの交換工事後、冷却器廻りで異音がしたため、冷媒(CO2)配管の防熱被覆を解体したところ、冷媒配管の溶接部で配管溶接施工時に、不純物が溶接金属に混入し発生したピンホールからCO2が漏洩していた。
28	消費先	容器からのLPG漏えい事故	2025年9月25日	福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	LPG	C2	漏えい	その他 (官公庁)	配管	消費中	その他 (締結部の不具合)	無	LPガスを使用した炎色反応を用いた土壌分析中、室内に設置していたLPガス容器(5kg)の容器バルブと調整器の接続部に亀裂が生じ、LPガスが漏えいた。原因は、経年劣化によるものと推定される。
29	消費先	酸素供給用フレキシブルホースの破換事故	2025年10月30日	岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	酸素	C1	破損	機械	配管	製造中	操作基準等の不備	無	レーザー加工機で消費する酸素容器を交換した後、酸素を供給するため容器の元バルブを開けたところ、容器から集合管に繋がっているフレキシブルホースが破損した。原因は、元バルブを急激に開けたためと推定される。
30	製造事業所 (一般)	減圧弁からの水素ガス放出	2025年11月8日	福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	水素ガス	C2	漏えい	その他 (自動車)	容器 (その他貯蔵モジュール)	製造中	シール管理不良	無	事業所内にある水素貯蔵モジュールを使用したところ、減圧弁からガスが漏れたような音を確認したため、設備を停止した。原因は減圧弁のOリングがシール部分から外れ、機能しない状態になったため。施設外への漏えいなし。
31	製造事業所 (一般)	ガスボンベ本弁の継手からのメタンガス漏えい	2025年11月30日	宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	メタンガス	C2	漏えい	その他 (研究施設)	容器	製造中	点検不良	無	試験設備においてガス検知器が発報し点検を実施したところ、メタンガスカードボンベ本弁の二次側継手からのメタンガスの漏えいを確認。カードボンベ所有のガス会社による継手の増締めにより漏えいは停止。原因は気温の低下によるガスケットの収縮と推定される。

■喪失・盗難

番号	規制対象区分	事故名称	年月日	県名	死者	重傷	軽傷	計	物質名	規模	現象(1次事象)	2次事象	業種	設備区分	取扱状態	事故原因(主因)	事故原因(副因)	着火源	事故概要
1	消費	消費先	2025年7月28日	宮城県	0	0	0	0	窒素ガス	C2	喪失		機械	容器本体	貯蔵中 (保管中)	喪失		無	納品先の事業所内に所在していた窒素ガス容器(7m ³)1本の所在不明が判明した。
2	消費	消費先	2025年7月28日	宮城県	0	0	0	0	プロパンガス	C2	喪失		建設	容器本体	貯蔵中 (保管中)	喪失		無	納品先の事業所内に所在していたプロパンガス容器(7kg)1本の所在不明が判明した。
3	消費	消費先	2025年12月1日	宮城県	0	0	0	0	混合ガス (炭酸ガス・フェノール)	C3	喪失		その他 (サービス業)	容器本体	貯蔵中 (保管中)	喪失		無	本社から容器が返送されていないとの連絡があり、確認したところ殺虫剤用の高圧ガス容器(炭酸ガスとフェノールの混合ガス)1本の喪失が判明した。